

今年計画された4回の地区住民が参加する交通安全運動は、11月12日の冬の集会を実施して終わりました。冬の集会は、区役所と清田5町連、そして関係団体合同で約500名が区役所前交流広場に集まりました。

石倉区長、豊平警察署・藤井署長、5町連協議会・濱田会長が交通安全への協力をしました。

交通安全街頭啓発

を参加者に呼びかけました。そして、全員が西友や道銀前の国道36号で街頭啓発を行いました。



岡崎所長の「皆さんの取り組みを頼もしく感じた。今後声かけなどで地域の子どもたちを守って...」の総評まで、各テーマについて発表や報告がありました。

今年度の標語「あなたの一声が子どもたちを育てます」を確認して終わりました。

子どもを見守る

7月14日夜、里美地区センターにて、多くの関係者が出席して開かれました。

地区青少年育成委員会・山部会長の挨拶から、中央交通番

て子どもたちを守り育てていくべきかなど、わかりやすく説明がありました。

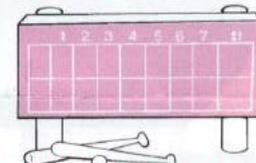
第7号 2009.12.1 発行
里塚・美しが丘地区町内会連合会
札幌市清田区里塚2条5丁目1-1
里塚・美しが丘地区センター内
電話 011-884-1210

今年3試合、決勝で北野地区に敗れ(4対10)準優勝でしたが、前2試合はいずれも7対0のリード勝ちでした。選手の皆さんご苦労さまでした。

当町連も体育部所管行事として地区住民皆さんの中から選手を選抜、毎年参加しています。

12回を数えるこの大会は5地区対抗としていますが、今年も区役所選抜が加わり6チームで熱戦を繰り広げました。

壮年野球大会



ゲーム&ウォーキング

3回目の今年、晴天の9月6日の日曜日、子ども17名と大人69名が参加しました。

平岡南公園を起点に同公園内や里塚緑ヶ丘公園などをゆつくり散策、心地よい汗でゲームを楽しみました。乳母車でも参加できる平坦なコースとしたため、全員が笑顔でゴールできました。

大田会長(日の丸団地町内会)、町連女性部(藤木部長)ほか多くの皆さんにご協力頂きました。来年も楽しい企画を用意し、参加をお待ちしています。



成績上位入賞者(敬称略)

【女性の部】		スコア
優勝	瀬谷 敬子	48
準優勝	干場 富美子	49
3位	川原 千恵子	49
(同スコアでの順位は年齢順)		
【男性の部】		スコア
優勝	近江 和義	46
準優勝	松本 幸也	48
3位	小山内 一三	50

パークゴルフ大会

好天の7月11日、平岡公園パークゴルフ場で140名(女性62名・男性78名)が参加し、第13回大会が開催されました。佐藤町連副会長、竹田まちづくりセンター所長も参加し、和気あいあいのプレーが多く見られました。

女性陣の実力アップが随所で光り、熱い戦いが繰り広げられ、ハイスコアな大会になりました。昨年の優勝成績に比べ、女性は2打、男性は3打上回りました。

来年度も多数の参加をお待ちしています。



地デジ説明会

11月10日、総務省による地上デジタル放送についての説明会が里美地区センターで開催されました。

これまでのアナログ放送は、2011(平成23)年7月24日までに終了し、すべて地上デジタル放送に切り替わります。

説明会では、電波の有効活用や放送サービスの充実といったテレビ放送のデジタル化の目的や、地デジ放送を見るための方法などについて具体的な説明がなされ、約50人の参加者は熱心に聞き入っていました。

総務省では「早めの準備を」、「地デジ対応やアンテナ交換などを口実にした詐欺にご注意ください」と呼びかけています。また、地デジに関する電話での相談も受け付けています。

問合せ先
地デジコールセンター
総務省 電話 0570-07-0101

第2回 里・美町連 秋まつり

今回は里・美町連2回目のおまつりです。昨年は初めての開催で不安ながらも、実行委員会ほか多数の皆さんの協力で無事、大盛況に終わることができました。今回も行政や企業を含め150名を超える方々の協力での日を迎えることができました。地区住民の皆さんの親睦と、明るく安心できるまちづくりのひとつとしての催しです。談笑や会食、クイズなどおおいに楽しんでくださいますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

里塚・美しが丘地区町内会連合会 秋まつり



第2回秋まつりの実行委員長
高島 重穂

秋晴れの9月27日、町連主催の「第2回秋まつり」が、昨年同様地区センター内外で賑やかに開催されました。6月16日の実行委員会から当日まで数回の打合せで企画内容を決め、町連、町内会・自治会が一体となつての実施でした。

焼きそば、やきとりなど新メニューも加わり、大変好評でした。心配されたインフルエンザの影響が多少あったものの、900名の皆さんが訪れてくれました。



おじいちゃんたちは、ステキに大変身！カメラに向かってハイッ！ポーズ！



ストラックアウトに挑戦！えいっ！いくつ当たったかな？
くじ引き1等当たるといいな...



遊びに興じる子どもたち
じょうずにヨーヨーつれるかな？
型抜きに夢中になる子どもたち



オープニングで演奏してくれた里塚幼稚園のマーチングバンド



布書きクレヨンで絵を描きアイロンで仕上げたらオリジナルエコバッグの出来上がり



スタンプラリーでおみやげゲット！



抽選会はたくさんの方で熱気に包まれていました



福まちの野菜販売は飛ぶように売れてました



女性部が調理したうどんとカレーライスも好評でした



視聴覚室では子ども向けアニメなどを上映



ホールで仲良くおしゃべりをしている子どもたち



頑張れ！未来の消防士！！



交通安全クイズも盛り上がってました



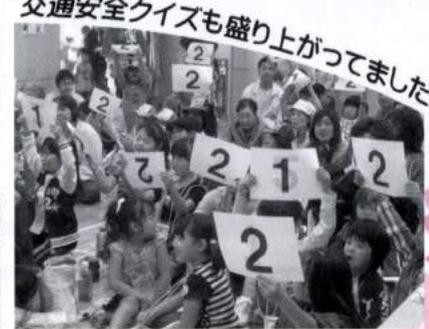
焼き鳥は大人気で、焼き手は大忙し！



ジュースくださいー！



消防車の乗車体験もできました



AEDの使い方の講習も行いました



焼き鳥を買う人の行列です



わたあめ美味しそう！



消防車の乗車体験もできました



AEDの使い方の講習も行いました

～新ゴミだしルールになって5ヶ月…その後の状況～

燃やせるごみ・燃やせないごみ・大型ごみの 排出量が大幅に減少!

7月に「新ごみルール」がスタートした後、市民のごみ減量・分別努力により、燃やせるごみ・燃やせないごみ・大型ごみの「廃棄ごみ」の排出量は大幅な減少となりました。

スプレー缶・カセットボンベによる ごみ収集車の 火災が増えています!



一方、「燃やせないごみの日」の排出方法では、スプレー缶やカセットボンベなどに残ったガスが原因とみられるごみ収集車の火災が多く発生しています。また、新たな分別区分として始まった「雑がみ」の排出では、ダンボールや新聞紙などの主要古紙が4割程を占めており、選別施設での処理能力が低下しています。

今一度、お住まいの地域の分別区分や排出方法、資源回収拠点などを確認していただき、ルールを守ってきれいなまちづくりにご協力をお願いします。

□ 雑がみ



○ダンボール・新聞などの主要古紙は原則、集団資源回収などにお出してください。

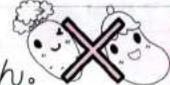
○ダンボールや紙袋に入れて排出できません。



○汚れの多少にかかわらず、使用済みのティッシュペーパーやキッチンタオル、紙おむつなどは排出できません。(収集・選別の段階で汚れた紙が区別できないため)

□ 枝・葉・草

○野菜や果実(果物)は排出できません。



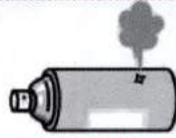
○ダンボールや紙袋に入れて排出できません。

□ スプレー缶 ・ガスボンベ



○「燃やせないごみ」の日に、指定袋とは別の透明または半透明の袋でお出してください。

○別袋に入れる前に、中身を使い切り、穴を開けてください。



問い合わせ先:豊平清掃事務所 581-9153

美里町内会の取り組み

美里町内会(442世帯、木村利法会長)では、家庭ごみ有料化に伴い、違反ごみの増加と、それに伴う未回収ごみの増加を予想し、市の助成金制度を利用して、すべてのごみステーションをカラスよけのサークルとネットに一新しました。

ネットだけのときと比べ、カラスによるごみ散乱の被害はゼロとなり、ごみステーションの美化に大きな効果を上げています。



また、住民のごみ出しマナーはおおかた守られていますが、9月以降、生ごみを別のごみに混ぜて出すなどの違反ごみが目につくようになりました。収集されない違反ごみは、ボラ



ンティア袋が町内会として購入した有料袋に再度仕分け直して、1カ月に1度排出していますが、小型トラックで一杯分にもなるそうです。

「自宅のごみステーションではないところに、分別していないごみを捨てていく人もいます。きちんとルールを守ってほしい」と木村会長。

ごみステーションは利用する住民の皆さんによって清掃や除雪を行い管理しています。ごみ出しマナーを徹底して清潔なまちづくりをしていきましょう。

福祉のまち推進センターより

ひとり暮らし温泉バス旅行

7月21日、総勢112名の参加のもと、大型バス3台に分乗し、目的地の当別町中小屋温泉に到着しました。風情のある温泉旅館で、入浴後、皆で昼食をとりました。

帰路は、野菜直売所「辻の倉」で思い思いの新鮮野菜を買い入れ、大きなソフトクリームを食べながらバスに乗る人もあり、にぎわいを見せ楽しい旅行となりました。



ひとり暮らし茶話交流会

10月14日には、ひとり暮らし高齢者の茶話会を里・美地区センターにて開催しました。51名の参加があり、言葉遊びやおしゃべりなど、情報交換しながら楽しいひと時を過ごしました。

里・美地区センターより たまり場地域懇談会

地区センターでは、地域で困っている人のために何をしたらよいか、何ができるのかを地域の皆さんと一緒に考える場として、「たまり場地域懇談会」を8月から月1回開催しています。

参加者は、何かボランティアをしたい、特技や経験を活かしたいという方々で、地域にあつたらいいなと思う「たまり場」(交流の場、活動の場)について、何をしたいか、どういう人たちが必要ななど、グループに分かれて意見やアイデアを話し合っています。



「たまり場」のイメージは人それぞれで、まだまだ発展途上の段階で具体的なものがはっきり見えているわけではありませんが、会を重ねるごとに参加人数も増え、地域づくりに積極的に参加しようという姿に、私たちスタッフも良い刺激を受けています。興味のある方は気軽に参加してみてください。お待ちしております。

地域トピックス

創立25周年 里塚緑ヶ丘町内会

創立25周年を迎えた里塚緑ヶ丘町内会(菅野 重夫会長)では、8月14・15日の2日間、記念の夏祭りが行われました。このなかで記念事業として「功労者表彰」を行い、この25年を支えてくれた町内26名、町外在住5名そして故人5名の役員経験5年以上の方々に表彰状と記念品をお渡しし、感謝の意を表しました。

合わせて会館改修にご尽力頂いた業者の方々にも賞状を授与し、その労をねぎらいました。

開校20周年 真栄中学校

今年、開校20周年を迎えた真栄中学校では、10月30日、公開授業と記念式典が行われました。スライドで20年のあゆみや生徒達のメッセージなどが紹介され、スクールバンドや、毎年全国コンクールで活躍する合唱部の演奏が披露されました。また、同校校歌の作曲者、黒澤吉徳氏の指揮で、校歌と「ふるさと」を全校合唱しました。

その後、場所を変えて行われた祝賀会では、同校の教育目標「未来をきり拓く、たくましく心やさしい生徒の育成」のもと、この20年を支えてきた関係者が出席し、様々な苦労や思い出を振り返りました。

締めめに、大形修三さん(里・美町連会長)の発声で、皆さんで万歳三唱をし、和やかな雰囲気の中、散会しました。

同校の益々の発展活躍を願っています。

創立20周年 羊ヶ丘通町内会

11月1日、羊ヶ丘通町内会(丹野 勝会長)では、創立20周年記念式典を羊ヶ丘通町内会館で行いました。式典には、石倉清田区長や道・市議会議員そして普段お世話になっている行政職員、医師、学校関係者、近隣の町内会・自治会役員の方々など多くの皆さんが出席し、お祝いしました。席上、5年以上の役員経験者7名へ永年功労表彰、4企業と会員2名へは町内会への協力功労表彰を行い、丹野会長から感謝状と記念品を授与されました。

美しが丘を居住とするこの町内会は、会員数が約150世帯の大きな町内会で、毎年近隣の町内会・自治会と共に、夏まつり、大運動会などを行っており、今年の夏まつりでは、同じく今年20周年を迎えた真栄中学校からスクールバンドの演奏が参加するなど華やかに記念行事が行われ、多くの会員の方々が参加しました。

記念事業の企画運営は企画委員会(小谷雅彦委員長)が担当しましたが、この中に近隣のマンション自治会・町内会の方が数名、町内会の枠を越え委員として協力しており、この地域で年々、町内会同士の友好的な交流が広がってきていることが感じられる、とても心温まる出来事でした。

里塚小唄の 記念碑建立

9月12日、三里塚神社宵祭り賑わう境内の一角で、関係者が熱望していた記念碑(歌碑)が披露されました。

この里塚小唄は、里塚の原風景を素直な言葉で表現した庶民の数少ない文化作品といわれており、現在地域の祭りやミニコンサートなどで親しまれています。

埋もれていた郷土の唄は、平成16年の三里塚小学校開校100周年の折、55年の歳月を経て見つかりました。この原稿を元に小山内國行さん美しが丘式番街自治会会長)が補曲・編曲しCDにまで仕上げ、地域に広めました。建立協賛会会長の加来博さん(町連相談役)は「先人の業績を後世に残したい。」と挨拶されました。



平成21年度 市町・区長表彰



7月9日、永年にわたり町内会・自治会等の役員として地域の振興に貢献された5名の方々に、石倉区長より感謝状が贈呈されました。

- 市長表彰
新保 昭一
(里塚第一町内会)
 - 区長表彰
土門 一夫
(里・美地区町連)
 - 祐川 定勝
(桂台町内会)
 - 大栗 秀夫
(里塚中央町内会)
 - 石田 俊夫
(里塚中央町内会)
- (敬称略)

投稿

四季

大田利生氏
(日の丸団地町内会会長)

風が舞う
木枯らしが舞う 雪が舞う
夕日背にして雁が舞う
春が来て
若葉茂りて 樹の芽吹き
小川せせらぎ小鳥鳴く
夏が来て
まつり囃子に 笛太鼓
朝な夕なに野に山に
紅葉は
みどりせかせて いろをなし
里え里えと舞い降りる

編集後記

年の暮れの多忙な時期になりましたが、今年2回目の「さとみ」発行です。次号は町連の動きと同じように、創意工夫されている、地域の皆さんの取り組みなどの掲載も考えていきます。

インフルエンザで明けた悲喜こもごもの丑年を送り、くる年への幸せを願い編集を終わります。よい年をお迎えください。

広報部

部長 金江 大次
副部長 鍋谷 紀子
副部長 南部由貴恵
オブザーバー
小山内國行
竹田 瑞恵